



No. 131



関東ブロック新潟大会に向けた新たな挑戦

一般社団法人「新潟県子ども会育成連合会」会長 須田貴子

曰うより、子ども会活動に支
援ご協力を賜り、心より感謝申し上
げます。

さて、昨年のラグビー日本代表の
活躍に、どれほどの方が感動をされ
たでしょうか。私が所属する市子ども
会も毎年冬休みに、「こどもスポー
ツ大会」(正式名称:「こどもスポーツ
フェスタ」)を開催しています。今年
度の試合中のワンシーンは指導す
る側として見習わなければならな
い、感動する場面に出会ったような
気がいたしました。

曰うる、子どもたちに接している
と、上からの指示も多くなりつつあ
りますが、試合中ある指導者から子
どもたちに投げかけられた言葉が
「がんばれ」ではなく、「笑顔! 笑
顔!」だったのです。大縄跳びで跳
んだ回数を競い、一セット三分間を
一セット跳ばなくてはならない最後

の苦しい場面での「笑顔」という言
葉。この指導者から教わる子どもた
ちからは、競いながらも楽しい時間
を過ごすとする前向きな姿を垣間
見たような気がしました。私たちが
曰うしなければならないのは、この
ような指導者であり、育成者なので
はないでしょうか。

来年度は、関東甲信越静地区十県
の育成者・指導者が子どもを健やか
に育むため、理念を共有し合う場及
び協議する場として開催される「関
東甲信越静地区子ども会育成研究協
議会」担当県となります。二年前か
ら分科会での内容を役員で検討し、
「地域に点在する子ども会だから」
ができる」とを根底としたテーマ
にし、今現在、部長等を中心に四分
科会で詳細を検討しています。ま
た、来年度はこの大会の他、安全啓
発中級研修会も担当県となり、慌た

だしく運営の準備をしているといろ
です。

新潟県予連も任意団体から一般社
団法人へと移行して早四年。その間
も地域における少子化の進行や保護
者等の価値観の変化による子ども会
離れもあり、会員数も年々減少して
います。役員の間でさえも課題とす
る内容が、この四年間で少しずつ変
わっています。

来年度は市町村子ども会役員なら
びに関係機関の皆さんには何かとご
協力をお願いすることも多くなるか
と推測いたしますが、是非、多くの
皆様方から色々な場面にご参画いた
だき、子どもたちを安全に、健やか
に育もうとする大人が理念を共有し
合う機会への一層のご協力を何卒よ
ろしくお願い申し上げます。



「遊び」が子供を強くする

国立妙高青少年自然の家 企画指導専門職

加藤 貴子



写真1 深雪体験

一 「サンマ」問題を生きる子どもたち
今の子どもたちは、「サンマ」がない。
最近時々耳にする「秋刀魚」ならぬ「三
間」とは、「時間」「空間」「仲間」に
共通する文字を取った呼び方です。
今どきの子どもたちは、「遊ぶ時間が
ない、遊ぶ空間がない、遊ぶ仲間が
いない」という悩みを抱えているよ
うです。

確かに、傍から見っていても、子ども
たちの放課後は忙しそうです。学
習塾に行くから遊ぶ時間がない、公
園に行つてもボール遊び禁止、箱フ
ランコや回旋塔は撤収される、空っ
ぽの空き地のよくな公園は子どもた
ちの賑わいが薄れて、どこか物悲し
さを感じます。

友達との会話はSNSでは盛り上
がるのに、面と向かうと会話に行き
詰るなど、子どもたちの「三間」問
題は、顕在化しているようです。

「Society5.0」に向けた人材育成に
係る大臣懇談会では、「情報通信技
術の更なる発展により、ヴァーチャ
ルな体験がリアルさを増していくと
ともに、都市部への人口集中が進み、
自然豊かな農山村の暮らしや遊びの
経験のない親世代が増加していけば、
自然体験などの体験活動やスポーツ、
「自由・形を自由」に変形できる・触

二 雪の魅力

今年は、例年になく小雪で、国立
公園の雪原を歩くスノーシューハイ
クなど、子どもたちが体全体で自然
と関わる「空間」で、妙高山麓の澄
んだ空気を吸いながら、「仲間」と共
に「時間」を共有できる「三間」を
実現することができる。

雪を使った自然の家での人気
活動プログラムに「深雪体験」
があります。(写真1) 降り積
もった新雪の中を、かんじきや
スノーシューを付けずに歩きま
す。肌を突き刺すような風雪の
冷たさ、踏みしめた雪質によつ
て異なる音、雪に深く埋まつた

ると冷たいけれど雪洞などつく
ると寒さをしのげる・滑って遊
べる・動物たちの足跡探しがで
きる・春先に水になり氷どころ
の田畠を潤す」など、雪を使つ
たり、雪で遊んだり、積極的に
雪と関わる時の魅力は、たくさん
あります。

また、「周囲の景色を真っ白にして
くれる・雜音を消してくれる・結晶
が神秘的」など、雪がつくる静寂の
世界の魅力もあります。雪には、
私達を魅了する不思議な力があ
るようです。



以前、新聞記事で、養老孟司さん
が「遊び」について書いた「ラムが
ありました。「遊びの主役は子どもで
す。でも、もう一つ、機械などを組
み立てるとき、きつちり作りすぎず、
部品と部品の間にちょうどよく余裕
を持たせる」とも「遊び」と言います。
「遊び」がないと、使いにくい道具も
あるんです。」と語っていました。
この部品と部品の間に作る「遊び」
がその物を結果的に強くするように、
子どもにとっての「遊び」は、時間
の浪費ではなく、成長過程で必要な
体験だと思います。

国立妙高青少年自然の家の自然体
験の中で「三間」を作り、自然体
験という「遊び」を通して、強くた
くましく自立した子どもたちへと成
長する」ことを願っています。

足を持ち上げるときの雪の重さ等を
感じることができます。このように、
雪は活動する子どもたちの五感を刺
激しながら働きかける、とつておき
の自然体験を提供します。

三 「遊び」の大切さ

上越地区

楽しかった子ども会

神明町子ども会

六年 牛木 成華

今年は、子ども会最後の年でした。毎年楽しめたのが、夏休みに入つての親子での活動でした。妙高へ行つてのオリエンテーリングやスプーン作り。お父さんや、お母さん、兄弟もみんなで参加したボーリング大会、とっても楽しかつたです。



うみてらす名立に行つた。プールも外はとても暑かつたけれど屋内プールもあり、プールの後は温泉にも入りました。お昼に食べた海鮮丼が美味しかつたです。小学校最後の年はバーベキューでした。

大型の観光バスに乗りました。上越の「肉のタナベ」バーベキュー・ガーデンに行きました。水遊びができる場所で弟や妹たちも水鉄砲をしたりバトミントンをしたり学年を問わず暑さも忘れ一日ゆっくり過ごせました。

お肉や野菜を焼いたり、外で食べて気持ちが良かったです。それから、ピンゴゲームもあり、とても楽しかつたです。

楽しい子ども会行事

神明町子ども会

二年 内山 陽仁

ぼくが楽しみにしていました。今年はみんなでバーベキューをしました。お父さんたちが火をおこしたり肉を焼いてくれて、お肉が大きくなつたから、お肉が食べました。

友だちといろいろな話をしながら食べるお肉はおいしかつたし楽しかつたです。

食べ終わったら、しばづみントンをしたりしました。近くに水遊びをする所もあって、みんな楽しそうに水でつぼうをしたり、水をかけて遊びました。

さいでにピンゴ大会がありました。トキドキしながらカードと番号を見くらべて、友だちが次つぎと当たつていくと気持ちがどんどんあせつていきました。ピンゴになつたしゅん間はとてもうれしかつたです。

友だちとバスの中で楽しく話をしたり、一緒にバーベキューをしたり遊んだりと一日楽しくすごすことができ、夏休みの良い思い出になりました。

来年度の子ども会行事もこれから楽しみです。

樂しかった火の用心

南魚沼市欠之上子ども会

六年 中俣 百音

私の住んでいる欠之上地区では、様々な活動があり、地域のために行い活動もあります。

その中で、私が一番楽しかった活動は、火の用心です。活動内容は、自分の地域を3つのチームに分けて大きな声で、「火の用心! マッチ一本、火事のもと!」と叫んで周ります。

私は、火の用心をするねらいは、二つあります。

一つ目は、火事が起きないようになります。私たち子ども会が呼びかけています。私たち子ども会がよびかけることで、それを聞いた地域の人は注意して、火をとりあつかうことの重要さを考えてくれるのだと思います。

二つ目は、絆を深めるためです。チームの中で歩くベースや、声の大きさ等をどうしたら良いか話し合つことで、より良い火の用心になり、みんなで楽しく活動をすることで、絆を深め合うことができます。

私は、六年生になり、今年が最後の文化祭でした。それまで、なんのためになるのかなんと考えたことがあります。

でも、六年生になって子ども会の会長になり、みんなをまとめることがありました。この経験を生かし、中学校でも、みんなの意見をまとめられるようになりたいです。

最後に、今年欠之上地区は、六十年以上の防火活動を続けたことにあります。これからも、火の用心の活動を続けることで、地域の伝統の活動を続けていってほしいです。

中越地区

「一つ目は、火事が起きないようになります。私たち子ども会が呼びかけています。私たち子ども会がよびかけることで、それを聞いた地域の人は注意して、火をとりあつかうことの重要さを考えてくれるのだと思います。二つ目は、絆を深めるためです。チームの中で歩くベースや、声の大



下越地区

子ども会の活動

舟入一・二・三丁目子連だより会

六年 長谷川 寧音

令和に入つて初めての子連だより会。そして、その中の一つが、敬老会です。内容は、町内会の人たちが集まり、それぞれのプレゼントとメッセージカードをもつて、係の人といつしょに舟入町の、おじいさん、おばあさんのいる家を軒一軒とまわって、プレゼントと、メッセージカードをお祝いの言葉とともに、わたすという内容です。私のまわる家は約二十軒。それを聞いた時は、びっくりしました。しかも、その時は真夏だったのです。ものすごくいたへんだったことが、すぐ分かりました。しかも、プレゼントとメッセージカードとともに言葉も言わないといけないので、そこもたくさん考えました。でも、プレゼントとメッセージカードをもらつた、おじいさんは、おばあさんは、すごくよろこんでいたただきました。その時はうれしさと達成感がありました。いいことをするつて、楽しいなと思いました。すごく楽しかったなあと思



いました。

冬のボーリング大会は、一チーム

二ゲームずつというルール。私は、

チームの人と仲良くできたのでよ

かつたです。しかも、相手のスコア

をほめあつたり、「コツを教えたた

り、応えんしあつたりして、人と人

との人間関係が深まつたなあと思ひ

ました。他のチームとも話したりで

きたので、よかったです。

町内の「じみひろい」を行つて、舟入

をきれいにしました。内容は、舟入

町の「じみを、たくさんひろつて、舟

入をきれいにする」というのがめあ

です。私は、ひろつている間に、見

えない「じみ」があるなと思ひ

ました。なぜなり、バレンタイン

かくしてすてている人がいるからで

す。見てみたら大当たり。たくさん

「じみがありました。自分の住んでいると

ころが、きれいになるとなんだかスッ

キリとします。楽し

かったです。

このような時間をつくつてくれた子ども会のみなさん、とても感謝しています。本当にありがとうございました。うわさじました。

佐渡地区

小学生最後の堂夜祭

本屋敷子ども会

六年 大地 美月

本屋敷地区では、堂夜祭という

お祭りを毎年夏に行っています。

堂夜祭りでは、地区の人々がお店を

出して、皆で楽しんでいます。

まず私は、準備からしています。

準備では、浮き物すべいの水ぐみ

やちょうどちんの電球の取り付けな

どを地区の人と協力して、準備を

しました。

私の出店は射的屋なので、たなを

置いたり、商品を並べたりなど、

お父さんと準備しました。

準備が終わり、六時半になる

と、お客様がやって来ます。

お客様がやつて来ると、「射的

やりませんか~？」などと呼び

こみをしました。出店で、お客

さんが来ると、「いらっしゃいませ~！」と言い、コルク球を渡

して、うち方を教えて、打つて

もり、商品を落とせたらふく

り詰め、「おぬでどう、ございま

す。」と言つようこしました。出

店をやつていると、小さい子ど

もが来たりしたので、どれが取

りたいのか聞いたり、取りやす

くしたり工夫しました。



小学生最後の堂夜祭りで、出店を持ち、貴重な体験をすることができ、いい思い出になりました。中学生になつても、子ども会の行事に参加していきたいです。

最初に浮き物すべいに行きました。物をすべくのが上手く出来ず、ポイがすぐ破れてしまい、あまり取れませんでした。次に私の出店の射的屋に行きました。好きなお菓子の「チョコボール」を十五個取れたのでとてもうれしかったです。最後に焼きそば屋に行きました。「屋台」という感じの味がして、二個食べてしまったほど、おいしかったです。

地区別「子ども交歓大会」のようす

<下越地区>

- ・期 日：令和元年8月9日(金)～10日(土)
- ・会 場：筑波研修センター
- ・参加者：小学生21人、大人5人 計26人
- ・活動内容
社会見学活動「ゆめ」と「きぼう」、KYT、ディスカッション、交歓会、ナイトミーティング
- ・感 想
自動車組立工場の見学をした子どもたちは、その巨大さとオートメーション（ロボット）の作業を見てビックリ、メーカーの人との一問一答でやっと緊張もほぐれたようでした。2日目は宇宙ステーション「きぼう」の運用管制室や飛行士養生エリアの見学、子どもたちの「ゆめ」と「きぼう」に生かしてほしい充実した2日間でした。



<上越地区>

- ・期 日：令和元年10月26日(土)～27日(日)
- ・会 場：国立妙高青少年自然の家
- ・参加者：小学生22人、YL5人、大人6人 計33人
- ・活動内容
1日目
仲間づくり、KYT（講師：小関）、館内オリエンテリング、スタンツ作り、キャンプファイヤー
2日目
びっくりランチ（カレー作り）、レクリエーション
- ・感 想
今年度の交流会は、初の試みとして上越市、妙高市だけでなく、糸魚川市からも募集を掛けた。それにより数多くの参加者が集まり、スタッフのやる気に繋がる交歓大会となった。参加した子どもたちの感想では、「新しい友達ができるて楽しかった」、「いろいろな活動を仲間と一緒にすることで楽しかった」、「来年もまた参加したい」などが上がり、満足感を味わっていた。来年度もより良い交歓大会を企画運営していきたい。



<佐渡地区>

- ・期 日：令和元年12月7日(土)
- ・会 場：サンテラ佐渡スーパーアリーナ
- ・参加者：15チーム 計183名
- ・活動内容
一人ずつ跳躍する「連続ジャンプ」と全員で跳躍する「一齊ジャンプ」の2種目を2分間で何回跳べるかとする独自ルールで勝敗を競いました。
- ・感 想
ここ数年は口コミ等を利用し、着実に参加チーム数も増え、低学年の参加も増えてきています。これをきっかけに、共通の目標を持ち、一体感を持つ良いきっかけになってもらえればと考えています。また最近は子ども達の体力の低下について議論されることがあります、今後もなわとび大会を継続し、学校の休み時間等を利用して、大人数で練習することにより、体力の向上にもつながってもらえればと思います。
- ・参加チームの地区に偏りがある状況が続いています。参加するチームがない地区的学校等への声掛け等のアクションを今以上に努力したいと思います。



<中越地区>

- ・期 日：令和元年10月27日(日)
- ・会 場：見附市中央公民館
- ・参加者数：のべ150名
- ・活動内容
加茂市子連、柏崎市子連、長岡市子連、三条市子連、南魚沼市子連、各ブース、積木スペース
- ・感 想
当日は、見附市の小学校は、別事業があり、参加者は少なかったものの、各市子連のクラブに驚き、楽しんでいた様でした。





関東甲信越静地区 子ども会育成研究協議会 新潟大会に向けた 実行委員会

新潟大会実行委員長 岡田政枝

二〇一〇年東京オリンピックの開催が決まり、大変話題になつたことが数年前、そのオリンピックが本番までに数ヶ月に迫つてきました。

私たち子ども会も関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会が二〇一〇年の十月に開催されます。私たちは、この大会に向けて一年前に実行委員会を立ち上げて、これまで四回の実行委員会で話し合いを重ね準備をしてきました。

次のようなことが決まりました。
「スローガン」
子どもの未来を見つめ地域とともに生きる力を育もう
「キーワード」
～夢に向け 私たち子ども会ができる」と、

第三分科会「安全啓発」「子ども会活動における安全啓発をどのように推進するか」
～取組の現状と課題～

第四分科会「ユース・リーダー」
～ユース・リーダーの養成と活躍をどのように推進するか～
～各県の取組と問題点～

それぞれの分科会で会を重ねるたびにテーマを絞り込んでいます。

この関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会は一〇年に一回の割合で回ってきます。

この大会は、私たち役員の研修の機会でもあり、これまでの体験や経験を生かして、より良い大会になるように皆で一丸となつて取り組んでいます。

他県の方々に心地よいおもてなしができるように心掛け、精一杯努めさせていただきます。

この大会を通して、今後の子ども会がよりよく輝けることに期待をします。

皆さんよろしくお願いします。

第一分科会「加入促進」「子ども会への加入促進をどのように推進するか」
第二分科会「加入促進」「子ども会への加入促進をどのように推進するか」
魅力の発進・大人の参加を促す

今後の予定 4月～10月

関プロ事務担当者会議【全子連主催】

期日 四月十七日(金)

会場 全子連ビル(東京都文京区大塚)

第四十五回県子連総会

期日 五月十七日(日)

会場 上越市民プラザ

第一回遊びのひろば

期日 五月二十八日(木)

会場 国立オリンピック青少年総合記念センター

全子連定期総会

期日 六月七日(日)

会場 新潟市東区アラザ

第一回理事会

期日 六月七日(日)

会場 新潟市東区アラザ

関プロ新潟大会第六回実行委員会

期日 九月十三日(日)

会場 新潟市東区アラザ

関プロ子ども会推進研究会(二回目)

期日 九月二十六日(土)～二十七日(日)

会場 全子連ビル

第二回ジュニア・リーダー中級研修会

期日 十月三日(土)～四日(日)

会場 国立妙高青少年自然の家

第五十三回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(新潟大会)

期日 二〇二一年十一月二十一日(土)

会場 全子連ビル

第一回ジュニア・リーダー中級研修会

期日 六月二十七日(土)～二十八日(日)

会場 新潟市(ホテルオークラ新潟)

関プロ子ども会推進研究会(回目)担当: 静岡

期日 六月二十七日(土)～二十八日(日)

会場 正副会長・監事一名・事務局

関プロ安全部会(回目)

期日 六月二十七日(土)～二十八日(日)

会場 武士俣昭司(新潟県)

講師 田中浩一(長野県)

期日 七月四日(土)～五日(日)

会場 新潟市東区アラザ

新潟県社会教育団体懇話会総会	期日 七月二十一日(水)
会場 じょいあす 新潟会館	子ども会の日
八月八日(木) 子ども会の日	関プロジュニア・リーダー大会
会場 群馬県前橋市・赤城少年自然の家	リーダースクラブ集会(県ジュニア・リーダー登録者集会・報告会)
期日 八月七日(金)～九日(日)	関プロ新潟大会第六回実行委員会
会場 柏崎市民アラザ	関プロ子ども会推進研究会(二回目)
期日 九月十三日(日)	関プロ新潟大会第六回実行委員会
会場 全子連ビル	第二回ジュニア・リーダー中級研修会
期日 九月二十六日(土)～二十七日(日)	第五十三回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(新潟大会)
会場 新潟市(ホテルオークラ新潟)	第一回ジュニア・リーダー中級研修会
期日 六月二十七日(土)～二十八日(日)	関プロ安全部会(回目)
会場 ゆいばーと(新潟市青少年センター)	第三回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(新潟大会)
対象 実行委員・当日スタッフで対応	大型バス駐車場確保
(八十一、一〇〇人)	第五十四回全国子ども会中央会議・研究大会
会場 北海道札幌市中央区かでる二・七	期日 十月二十四日(土)～二十六日(月)
会場 (京王アラザホテル)	会場

2020年度(第53回)
関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会
開催要項(案)

期 日 2020年10月18日(日)～19日(月)
会 場 ホテルオークラ新潟(新潟市中央区)

【スローガン】

子どもの未来を見つめ 地域とともに生きる力を育もう

【キーワード】

～夢に向け 私たち子ども会ができること～

【大会趣旨】

昨今の情報化社会の中で、子どもたちが様々な人と関わり合いながら、豊かな人間性や判断力を身につけ、健全な心と体を養い、自らが強く生きると共に新たな次代を拓く力を持つていくことが重要と考えます。また、基礎となる家庭での教育力の低下や希薄な人間関係が問われる中、災害が起きるたびに、地域での支え合いや助け合う地域づくりが求められています。

そこで、本大会は、子どもの未来を見つめ、安全安心な環境づくりと地域とともに生きる力を育むため、地域に点在する子ども会だからこそできることをテーマとして考えました。

参加者の皆様に多角的なディスカッションの成果をそれぞれの地域に持ち帰っていただき、安全安心な地域づくり及び未来への人づくりの一助としていただけましたら幸いです。

【日 程】**☆第1日目 10月18日(日)**

	12:00	12:30	13:00	14:00	14:30	17:00	18:00	20:00
受付	開会行事			移動	研究協議		休憩・移動	情報交換会
	オープニングセレモニー	開会式	表彰式		4分科会協議			

☆第2日目 10月19日(月)

	9:00	10:00	11:10	11:20	11:30
	記念講演			会場準備	閉会式 大会旗引き継ぎ
	『地域の宝！子どもたちの生きる力を育む ～地域・家庭・学校 総ぐるみの取組み～』			報告 総評	

【参 加 者】

関東甲信越静地区各県の指導者・育成者
市町村・単位子ども会の育成者・指導者
行政担当・教育関係・青少年団体育成関係者
ユース・リーダー

【会場案内】

区分		時間	会場名
受付	来賓受付	12:00~12:30 12:30~12:50	1階 ロビー (来賓控室) 4階 白鳥4
開会行事	オープニングセレモニー	12:30~12:50	4階 コンチネンタル
	開会式	13:00~14:00	4階 コンチネンタル
研究協議 (分科会)	第1分科会	14:30~17:00	3階 クラウンルーム
	第2分科会		5階 松・竹・梅
	第3分科会		4階 白鳥1・2・3
	第4分科会		5階 メイフェア・クイーン・ピコック
会長会議	会長会議	15:00~17:00	4階 白鳥4
情報交換会		18:00~20:00	4階 コンチネンタル
記念講演		9:00~11:10	4階 コンチネンタル
閉会式		11:20~11:30	4階 コンチネンタル
大会本部		11:30~12:00	1階 ロビー

●日程

挨拶・討議の進め方(説明)	14:30~14:40
事例発表	14:40~14:50
グループワーク	14:50~16:00
自己紹介	
グループでの討議	
まとめ	
グループ発表	16:00~16:30
全体まとめ	16:30~17:00

分科会名	テーマ	内容
第1分科会	地域連携	「子ども会と家庭・地域との連携をどのように推進するか」 ～家庭・地域・学校・行政との関わり～
第2分科会	加入促進	「子ども会への加入促進をどのように推進するか」 ～魅力の発信・大人の参加を促す～
第3分科会	安全啓発	「子ども会活動における安全啓発をどのように推進するか」 ～取組の現状と課題（震災・防災・安全マップ）～
第4分科会	ユース・リーダー	「ユース・リーダーの養成と活用をどのように推進するか」 ～各県の取組と問題点（JLとYLの関わり方等）～

**令和2年度
第45回 一般社団法人 新潟県子ども会
育成連合会総会案内**

I 総会について

期 日 令和2年5月17日（日）
 時 間 13時30分～16時00分
 会 場 上越市民プラザ
 TEL 025-527-3611

II 遊びのひろば

主 催 一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会
 共 催 上越市子ども会連絡協議会
 日 程 遊びの広場 12時00分～15時30分

<開会式次第>

- 1 開会のあいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 表彰 県子連表彰
 - (1) 指導者・育成者
 - (2) ジュニア・リーダー
 - (3) 子ども会
- 4 祝辞 県生涯学習推進課長
上越市長
- 5 来賓紹介
- 6 謝辞 表彰者の代表
- 7 閉会のあいさつ
=休憩=



令和元年度総会 開会式（表彰式）

令和元年度 <遊びのひろばのスナップ>



<総会次第>

- 1 開会のあいさつ
- 2 議長選出
- 3 議長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 令和元年度会務並びに事業報告について
 - (2) 令和元年度会計決算報告及び監査報告について
 - (3) 令和2年度県子連理事選出等について
 - (4) 令和2年度事業計画（案）について
 - (5) 令和2年度予算（案）について
 - (6) 令和2年関プロ新潟大会について
 - (7) その他
- 5 議長退任
- 6 次期開催地子連会長あいさつ
- 7 閉会のあいさつ

阿賀野市（水原公民館）



糸魚川市（市民会館）



2020年度 新潟県少年自然の家 イベント一覧

新潟県少年自然の家
〒959-2602 胎内市乙字大日裏
TEL 0254(46)2224
FAX 0254(46)3070
<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>



イベント名		期日	内容	会場	募集人員
自然・ふれあい! 家族のつどい	1	8/29・30(土・日) 1泊2日	カヌー・釣り 野外炊さん	新潟県少年自然の家等	各回とも原則 小・中学生含む 家族25組程度 (70名程度)
	2	12/5・6(土・日) 1泊2日	クリスマス料理作り 自然素材クラフト		
	3	1/30(土) 日帰り	どんど焼き もちつき		
チャレンジわんぱく	1	7/23・24(木・金) 1泊2日	自然体験や共同生活体験 を通して、協働すること の大切さを学びます。		小学4~6年生 70名程度
	2	9/26・27(土・日) 1泊2日			
	3	1/23・24(土・日) 1泊2日			
一緒に泊まり キャンプinたいない	1	10/24・25(土・日) 1泊2日	親子で自然体験活動等を 楽しめます。 子育ての悩みを共有します。		園児(年中・年長)20 名と保護者計50名程度 ※園児の兄妹は 小2まで可能
	2	10/31・11/1(土・日) 1泊2日			
国際交流サマーキャンプ		8/20・21(木・金) 1泊2日	留学生との交流を通して様々な 文化や習慣を学びます。		中学生・高校生・留学 計30名程度
家族でカヌーに親しもう!		8/8(土)午前・午後 8/9(日)午前・午後	家族で水上スポーツの樂 しさを体感します。	胎内川	各回、小4以上の家 族参加で30名程度

※事情により、内容を変更する場合があります。詳しくはHPを御覧ください。

2020年度 新潟県立こども自然王国 イベント一覧

新潟県立こども自然王国は、遊ぶ・学ぶ・泊まるがひとつになった柏崎市高柳町にある宿泊型(B型)の大型児童館です。

新潟県立こども自然王国
〒945-1505
新潟県柏崎市高柳町高尾30-33
TEL: 0257-41-3355
FAX: 0257-41-3515
<http://www.garuru-kururu.jp>



期日	イベント名	内容	対象・定員
通年	王国ジュニアリーダー活動	高柳の自然に触れる活動や、やりたいことを企画して挑戦!活動を通して仲間との絆を深めよう!	小学5年・中高生
5月2日～6日	ゴールデンウィーク あそびフェスタ	期間中は楽しいイベントが盛りだくさん! 春の王国でおもいきり遊ぼう!	
6月21日	森でひみつ基地づくり	親子で一緒に森の中にひみつの基地をつくろう! 昼食&王国温泉入浴付き	5歳以上の親子 定員:5組
7月4日	カヌーまつり	鰐石川流域をカヌーに乗って探検! 王国温泉入浴付き	小学4年生以上 定員:15名
7月11日～8月16日 (土日祝)予定	番神自然水族館	海の中はまるで水族館! 番神海水浴場で生き物さがし!	小学1年生以上 定員:20名
8月3日～4日	ガルルキャンプ 「山から海へ」	遊び&冒険&発見&原体験 1泊2日テント泊・食事3食(自炊含む)付き	小学4年～中学3年 定員:30名
9月6日	トンボとり大作戦!	親子で力を合わせてトンボなどの昆虫を捕まえよう! 制限時間内でどれだけ捕まえられるかな?	3歳～小学生と大人の ペア:20組
9月20日～22日	防災イベント	「もしも」の備えに、親子で体験! 防災グッズの作成、非常食の試食	
10月14日	秋の児童館まつり	県内の児童館・児童クラブ・大学のみなさんによるあそ びの屋台や、王国の美味しい屋台が大集合!	

※天候やフィールドの状況により場所や内容を変更、中止する場合があります。

楽しいゲームでもっと仲良し その14

《リーダーはだれだ！》

オニになった人が、グループの動きを見て、だれがその動きを指示しているのかを見つけて、リーダーを当てるゲームです。

《遊びかた》

- ① みんなでジャンケン、くじ引きなどでオニを一人きめます。
- ② オニを追い出してから、ほかの人たちはだれがリーダーになるかをきめます。
- ③ リーダーがきまつたら、輪をつくって座りオニを呼んできます。
- ④ オニが輪の中に座ったら、まず勝手に動き、やがてリーダーの動きをまねます。リーダーの動きが変わったら、またまねをします。
- ⑤ ほかの人たちは、そのしゅん間にリーダーがだれであるかをオニにわからないようにして、リーダーの動きをまねしはじめます。
- ⑥ オニは、それらの動きを判断して、リーダーがだれなのかを当てます。

<ゲームのコツ>

リーダーが動きを変える回数は、参加人数より、1~2回へらした数にしましょう。バックに音楽を流すと、動きがスムーズになり、よけいにたのしさがまします。

<ペナルティー>

オニになった人は、当てるまでオニを続け、当たら、そのリーダーが次のオニになります。



創作活動 作って遊ぼう その22

風をうけると動く不思議

ほかけ舟 から 風車

工作 ほかけ舟・ほかけ車1~3号・風車・ヘッド風車・
もちつき風車・水車

風があたるところをつくれば、
風で動くおもちゃがつくれるよ。

1 ほかけ舟やほかけ車をつくる

机の上に紙を置いてごらん。手などでさわらないで動かしてみよう。吹く？ あおぐ？……

① ほかけ舟



用意するもの

工作用方眼紙
ハサミ

② ほかけ車1号

用意するもの

ほかけ舟 ハサミ カラーボール
ナイフ 牛乳のフタ…8枚 竹ひご 目うち
セロテープ セメダイン ストロー…2本



